

【令和8年3月度調査】 にししん景気動向調査レポート

調査内容：令和8年1月～3月の業況、令和8年4月～6月の先行き予想

実施時期：3月2日から3月6日

回答先

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
204	177	37	119	55	54	646

結果の要旨

【全体】景気は持ち直しの動きがみられるものの、先行きは慎重な見方が広がっている

・ 今期実績は、業況判断D.I. が前期比で改善し、収益面もわずかながら上向くなど、全体としては緩やかな持ち直しの動きがみられる状況である。一方で売上高はやや弱含んでおり、回復の足取りは力強さを欠く状況である。

・ 来期予想は、業況・売上・収益のいずれの指標も当期比で悪化が見込まれており、先行きについては不透明感が強く、事業者の慎重な見方が広がっている状況である。

【業種別】業種間でばらつきがみられ、先行きは総じて弱含みの見通しである

・ 今期実績では、製造業や小売業、不動産業、サービス業において改善の動きがみられ、全体を下支えしている状況である。一方で卸売業は大幅な悪化となり、建設業もやや低下するなど、業種間で明暗が分かれている状況である。

・ 来期予想では、多くの業種において業況・売上・収益の悪化が見込まれており、とりわけ卸売業や製造業などで慎重な見通しが示されている状況である。全体としては改善の勢いが鈍化し、弱含みで推移する見通しである。

①全体の景況

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
7/12	-3.5	9.5	2.7	10.0	-5.5	7.5	3.8
8/03	2.9	10.7	-10.8	7.5	3.6	11.1	5.8
8/06 予測	-1.4	2.8	-5.4	0.0	1.8	3.7	0.4

当期売上額判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
7/12	4.1	9.5	16.6	16.6	12.9	3.7	9.4
8/03	5.8	9.6	-8.1	11.7	16.3	7.4	8.2
8/06 予測	4.9	0.0	-8.1	2.5	-9.0	-3.7	0.4

当期収益判断D.I.

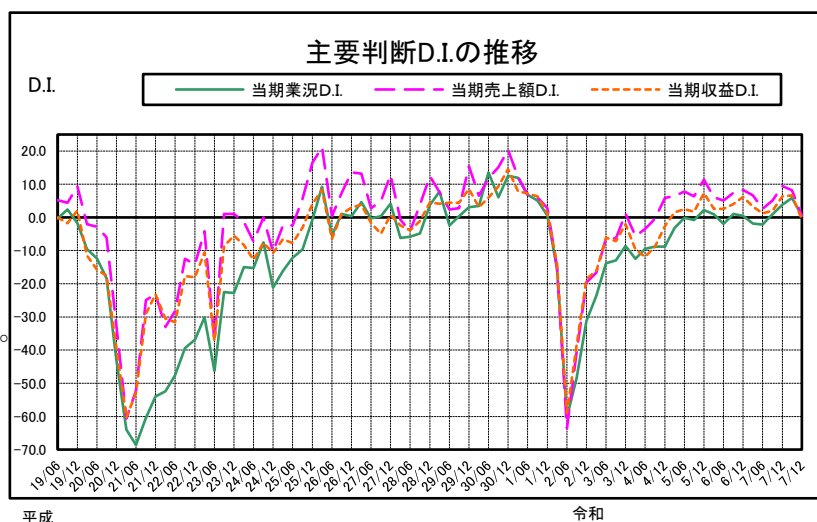
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
7/12	-0.5	10.1	19.4	13.3	-3.7	3.7	6.3
8/03	4.9	7.3	-8.1	10.0	10.9	9.2	6.6
8/06 予測	3.9	-1.1	-5.4	-0.8	-9.0	-3.7	-0.6

【当期実績】

・ 当期業況判断D.I.は5.8(前期比+2.0)、当期売上高判断D.I.は8.2(同▲1.2)、当期収益判断D.I.は6.6(同+0.3)となった。

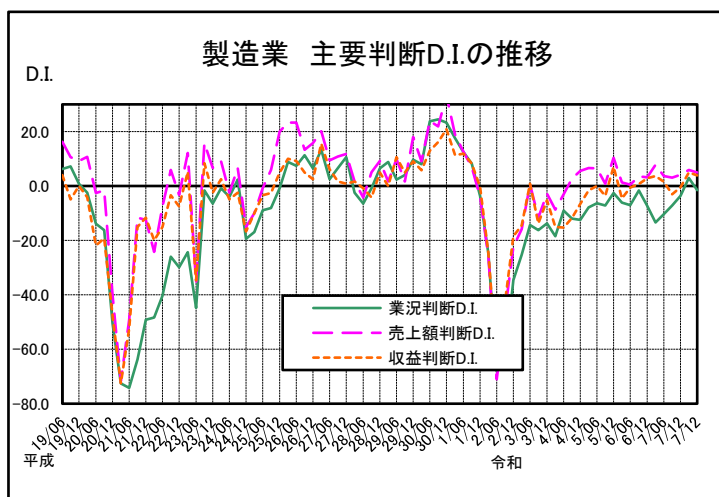
【来期予想】

・ 来期予想は、業況判断D.I.は0.4(当期比▲5.4)、売上高判断D.I.は0.4(同▲7.8)、収益判断D.I.は▲0.6(同▲7.2)と、いずれも悪化を見込む。



*D.I.は「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める割合から、「減少」(下降)したとする割合を引いて算出。

②業種別の景況



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
7/12	-3.5	4.1	-0.5
8/03	2.9	5.8	4.9
8/06 予測	-1.4	4.9	3.9

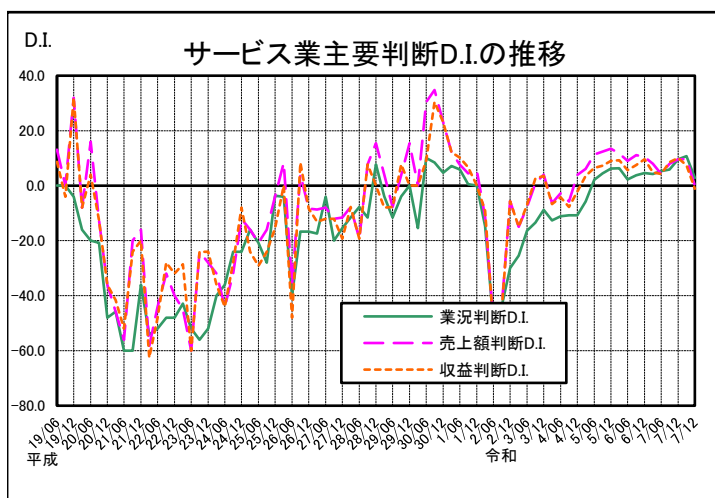
〈製造業〉

・当期業況判断D.I.は2.9(前期比+6.4)、当期売上高判断D.I.は5.8(同+1.7)、当期収益判断D.I.は4.9(同+5.4)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲1.4(当期比▲4.3)、売上高判断D.I.は4.9(同▲0.9)、収益判断D.I.は3.9(同▲1.0)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が36.8%と最も多く、次いで「人手不足」が26.0%、「原材料高」が21.6%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が51.5%と最も多く、次いで「販路を広げる」が48.0%、「人材を確保する」が18.6%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
7/12	9.5	9.5	10.1
8/03	10.7	9.6	7.3
8/06 予測	2.8	0.0	-1.1

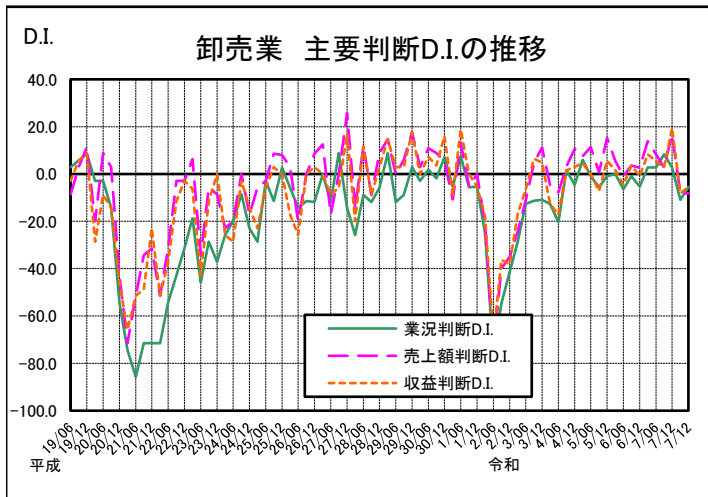
〈サービス業〉

・当期業況判断D.I.は10.7(前期比+1.2)、当期売上高判断D.I.は9.6(同+0.1)、当期収益判断D.I.は7.3(同▲2.8)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は2.8(当期比▲7.9)、売上高判断D.I.は0.0(同▲9.6)、収益判断D.I.は▲1.1(同▲8.4)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が27.1%と最も多く、次いで「人手不足」が20.3%、「同業者間の競争の激化」が19.2%であった。

・当面の重点経営施策では「販路を広げる」が38.4%と最も多く、次いで「経費を節減する」が36.7%、「宣伝・広告を強化する」が16.4%であった。



卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/12	2.7	16.6	19.4
8/03	-10.8	-8.1	-8.1
8/06 予測	-5.4	-8.1	-5.4

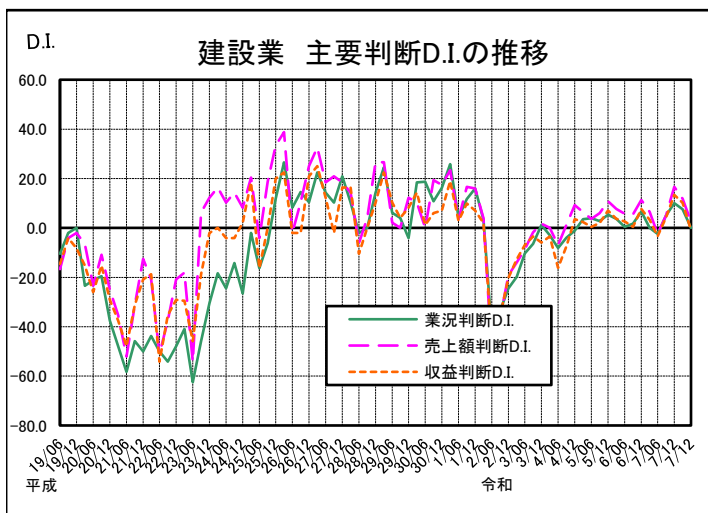
〈卸売業〉

・当期業況判断D.I.は▲10.8(前期比▲13.5)、当期売上高判断D.I.は▲8.1(同▲24.7)、当期収益判断D.I.は▲8.1(同▲27.5)と、いずれも悪化した。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲5.4(当期比+5.4)、売上高判断D.I.は▲8.1(同0.0)、収益判断D.I.は▲5.4(同+2.7)を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が32.4%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」が27.0%、「人件費の増加」が16.2%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が59.5%と最も多く、次いで「販路を広げる」が51.4%、「情報力を強化する」が13.5%であった。



建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/12	10.0	16.6	13.3
8/03	7.5	11.7	10.0
8/06 予測	0.0	2.5	-0.8

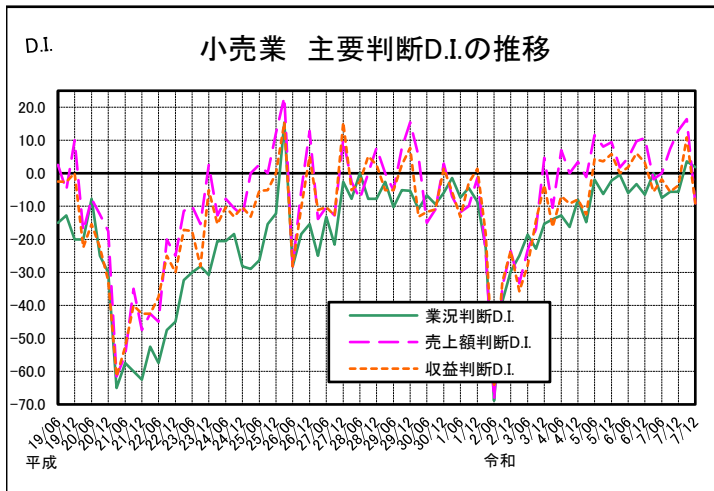
〈建設業〉

・当期業況判断D.I.は7.5(前期比▲2.5)、当期売上高判断D.I.は11.7(同▲4.9)、当期収益判断D.I.は10.0(同▲3.3)と、いずれも悪化した。

・来期予想は、業況判断D.I.は0.0(当期比▲7.5)、売上高判断D.I.は2.5(同▲9.2)、収益判断D.I.は▲0.8(同▲10.8)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「材料価格の上昇」が37.0%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」が26.9%、「人手不足」が26.9%であった。

・当面の重点経営施策では「販路を広げる」が52.9%と最も多く、次いで「経費を節減する」が47.9%、「人材を確保する」が21.8%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/12	-5.5	12.9	-3.7
8/03	3.6	16.3	10.9
8/06 予測	1.8	-9.0	-9.0

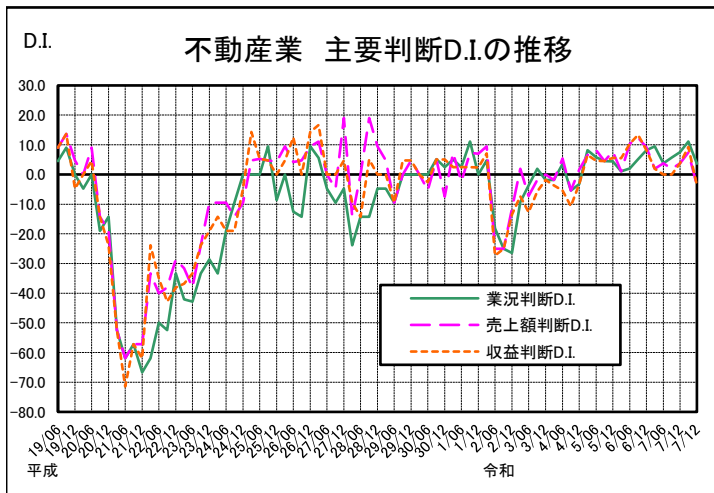
<小売業>

・当期業況判断D.I.は3.6(前期比+9.1)、当期売上高判断D.I.は16.3(同+3.4)、当期収益判断D.I.は10.9(同+14.6)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は1.8(当期比▲1.8)、売上高判断D.I.は▲9.0(同▲25.3)、収益判断D.I.は▲9.0(同▲19.9)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「売上の停滞・減少」が43.6%と最も多く、次いで「利幅の縮小」が32.7%、「同業者間の競争の激化」が27.3%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が54.5%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」が30.9%、「宣伝・広告を強化する」が20.0%であった。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
7/12	7.5	3.7	3.7
8/03	11.1	7.4	9.2
8/06 予測	3.7	-3.7	-3.7

<不動産業>

・当期業況判断D.I.は11.1(前期比+3.6)、当期売上高判断D.I.は7.4(同+3.7)、当期収益判断D.I.は9.2(同+5.5)と、いずれも改善した。

・来期予想は、業況判断D.I.は3.7(当期比▲7.4)、売上高判断D.I.は▲3.7(同▲11.1)、収益判断D.I.は▲3.7(同▲12.9)と、いずれも悪化を見込む。

・経営上の問題点では「利幅の縮小」が22.2%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」が13.0%、「商品物件の不足」が13.0%であった。

・当面の重点経営施策では「経費を節減する」が31.5%と最も多く、次いで「販路を広げる」が29.6%、「宣伝・広告を強化する」が18.5%であった。